

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター 防府市なかよし園		
○保護者評価実施期間	令和6年11月18日		令和6年11月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数) 33
○従業者評価実施期間	令和6年11月18日		令和6年11月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月19日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームワークの良さ、職員同士のコミュニケーションの良さ。</li> <li>・多職種による支援。</li> <li>・他の関係機関との連携がしっかり出来ており、情報交換がしやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が突然休んだり長期休業した時や、事前に長期休業が分かった時等、現場職員で話し合い、役割分担をし、スムーズに療育を行うことが出来ていること。</li> <li>・多方面からの支援を行っている。</li> <li>・他の施設の方と意見交換をしたり、勉強会をする等して、知識の向上を図っていること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・嘱託職員や非常勤職員が、もっと意見を言えるような体制づくりを行っている。</li> <li>・外部講師によるコンサルテーションにより、職員の自己研鑽に努める。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権尊重や虐待防止についての意識が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3ヶ月毎のセルフチェック表の記入と内部研修での虐待についてのテーマを取り上げたり、倫理綱領や行動基準を読み合わせ、自己の言動を振り返る機会を設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常に意識できるような標語掲示研修を継続していく。</li> <li>・職員全体が療育について共通理解できるようにレベルを上げていく。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同法人、近隣に障害者の事業所がある。</li> <li>・放課後デイサービス事業を併設している。</li> <li>・保育所等訪問事業を行っていることで、保育所等との連携がしっかりととれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当園では、不足している事業（日中一時、ショートステイ等）の活用を周知できる。</li> <li>・就学後の利用先が紹介、見学できる。</li> <li>・県の委託事業で研修を実施、保育士等へ障害のある子ども達への理解を深めてもらっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用児、保護者の細かいニーズにお答えできるようにする。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門性（知識、技術）に十分な自信が持てていない。</li> <li>・経験年数が短い職員や異動がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害児に対して専門的知識を皆が取得できていない。</li> <li>・職員が長く辞めずに働ける環境づくり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部研修に専門的且つ具体的な内容を取り入れていき、非常勤職員への伝達や研修参加を促す。</li> <li>・職員個々の人格を大切に働きやすい職場環境作り。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備面（各部屋や動線の確保）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状では色々工夫を凝らしているが限界がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもをグループ分けして活動を行い、子どもが分かりやすい環境を設定する。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援センターとしての役割が出来ているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の人員不足。</li> <li>・職員一人一人のセンターの機能、役割に対する理解不足。</li> <li>・複数の職員が児童発達支援事業と保育所訪問支援事業の2事業を兼務で行っている為、訪問支援が十分できていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との連絡調整や会議などを積極的に参加し、職員の質の向上に努める。</li> <li>・常勤職員を増やし、様々な関係機関と連携を図れるようにする。</li> <li>・職員の増員と保育所等訪問支援事業は専属の職員を配置することが必要。</li> </ul>

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センター 防府市なかよし園

公表日 令和7年 3月 21日

保護者等数(児童数) 41 回収数 33  
割合 80.4%

利用児童数 令和6年 11月 18日

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	無記入	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	3	1	2		・1人1人向き合って十分に確保されていると思います。 ・利用児が多い日は室内での遊びスペースがより必要と感じます。	・支援内容や活動に合わせてスペースの確保に努めます。 ・子どもの特性に配慮し、安全な環境スペースが提供できるよう構造化に努めます。 ・仕切りをし、部屋を場面に合わせて調整します。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	27	1		5		・職員の配置数は十分にあると思います。 ・年々利用者が増加している割に正社員の数が減少しかわりにパートさんで補っている印象があり、一人一人に対応できているか不安に感じることがある。	・パートも職員であり責任ある立場であることの理解に努めます。 ・職員研修を行い質の高い療育が提供できるようにします。 ・全職員、情報共有をしっかりと行い、安心して頂けるよう責任ある支援を行います。 ・定期的に職員研修を実施し、スキルの向上を図っています。一人ひとりが意識を持って適切な支援に努めます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	29	2		2		・生活空間は安全性を保ち、一日の出来事の情報伝達も十分に出来ていると思います。	・一人ひとりの特性に沿った分かりやすい導線など構造化に努めます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	32				1	・毎朝園庭もきれいに掃除、整備されていてありがたいです。 ・もう少しトイレ誘導、おむつ替え等の回数が増えるといいなと思います。 ・日が入って明るい部屋でよいと思います。	・日々の療育について理解して頂けるように努めます。 ・引き続き環境整備に努めます。 ・トイレ誘導時の着替えの場所などにも配慮します。 ・子どもたちの様子を見ながら、1日の流れ以外にもトイレなど行っています。回数の変化がみられた際は保護者の方にお伝えできるよう心がけます。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27				6	・子どもの苦手とする面を無理なくステップから克服できるよう成長を促して頂き、作業・理学療法、栄養学各分野での活動があり、助かります。 ・個別課題の日があり子どもに応じた課題を行ってくれています。 ・よく息子のことを見てくれて有難いです。 ・子どもの特性に合わせて、子どものペースに合わせた支援が受けれていても助かります。	・個々の子どもの特性を理解し、全職員で情報共有しながら、資格取得者の専門性を活かし、個々のニーズに沿った支援を提供できるように努めます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24	1		2	6	・幼稚園訪問も含め、両園・家庭で支援内容を共有できていて助かります。 ・プログラムに沿った支援内容だと思います。 ・あっていると思います。	・個別支援計画の説明を行う時に、支援プログラムの内容についても説明していきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	32	1					・一人ひとりの特性(5領域に基づいた)計画作成に努めます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	31				2	・リハビリや食事提供など本人に合わせて行なってもらっていると思う。 ・親の私でさえ気付きにくい事をよく見て下さり、共有して頂いて助かっています。 ・よく見て下さり、こちらの思いをくみ取っていただいています。	・一人ひとりの特性(5領域に基づいた)計画作成に努めます。 ・できたこと難しいこと、保護者の方と相談しながら支援していきます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	33						・職員研修の中で計画に沿った支援、見直し、改善に努めます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	1	1	4			・楽しい、やってみたいなど自主的な気持ちの育つプログラムを提供していきたいです。

11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	21	2	2	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流がある事で本人も刺激されて良いと思う。</li> <li>・年に1回くらいですか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は一回行いました。交流させていただいた園より少し回数を増やしたいと言うお声をいただいています。</li> <li>・次年度は複数回実施できるよう調整致します。</li> </ul>
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	32			1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすい説明を心掛けていきます。</li> </ul>
13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32			1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の都合を配慮して説明の機会を設けられているように思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との良い情報共有の場となるよう努めます。</li> </ul>
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	6	1	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも平日に行なわれているため、土曜日とかに行なって欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアレントトレーニングは実施していませんが、今後は家族支援に関する企画を検討し土・日に開催できるように努めていきます。</li> </ul>
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	29	3		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園での様子を細かく教えて下さるので共通理解が出来ています。</li> <li>・連絡帳に細かく書いて下さったりすると、後で読み返せて助かっています。</li> <li>・バス通園なので、ノートのやり取りのみだと見えない部分もあって仕方ないことだとは思っています。(最近保育園ではコドモンというアプリを使って毎日どんな事をしたのか写真で送ってくれるので日々の出来事を把握しやすいです。)</li> <li>・保護者の困り事や意向を伝えやすい、開かれた環境、先生方だと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳や対面などきめ細やかな情報共有に努めます。</li> <li>・療育の中で変化があれば速やかにお伝えします。</li> <li>・保護者の皆さんが、お子さんを安心して通園させられるように開かれた施設を目指していきたいと思えます。</li> <li>・ご不便をおかけしますが現状ではアプリ等の活用は難しいので連絡帳や電話などで対応させていただいています。また、給食参観(毎月)なども設けておりますので是非ご活用ください。</li> </ul>
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	2		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス通園の保護者の方も、活動の様子が分かり、お話をしやすい時間、機会があるとより良いかとも感じます。</li> <li>・マンツーマンでお話をさせて頂く機会は本当に貴重ありがたいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当と保護者が直接話ができるような機会を設けます。</li> <li>・保護者の皆さんが気軽に相談できるような体制や環境づくりに努めます。</li> <li>・児発管も含め各担当職員と時間を作り、面談など行う機会を作るよう努めます。</li> </ul>
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	2		6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳に記入したりお伝えした内容に配慮しながら日々見ていただいている事、保護者への配慮も多く、有難いです。</li> <li>・子供の課題や成長した点をよく見つけていただき、助言や家での様子を聞いていただける職員さんが多いですが、自分の担当？のお子さんに徹しておられる職員さんの中には居られます。</li> <li>・親が気づけなかったことに気づいてもらったり一緒に子どもの課題について話し合える機会が多くあり、とても助かっています。</li> <li>・子どもが新しくできることが増えてきて時などに一緒に喜んでもらってこちらもとても嬉しいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日、終礼時に子どもさんの状況報告をしたり、定期的に支援会議を行ったりと、一人一人のお子様についての情報を全職員で共有しています。</li> <li>・園では、担当職員のみならず全員でお子様一人一人を支援しています。今後も担当に拘らず支援を継続していくつもりです。</li> </ul>
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	6		4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナや感染症対策に伴い難しくなったイベントもありますが、クリスマス会、お父さんの会など工夫して開いていただき有難いです。これからもそういった機会が増えていくと嬉しいです。</li> <li>・家族への支援はされているのが、きょうだいの支援は不明なので。</li> <li>・親子参加の行事は増えましたが、クリスマス会やお料理会などいつもの雰囲気とは違った、より活動的な内容である為自分の子どもの見守りに精いっぱい、保護者同士などの会話は難しいです。</li> <li>・保護者同士の交流はよく機会を設けていただいて、有難いです。きょうだい同士の交流についてはよくわかりませんが、きょうだいも参加してもいいイベントは多く開いてくれています。</li> <li>・色々な季節のイベントや交流会の開催があり、支援や勉強になることも沢山あってとても助かっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族が参加できるような魅力あるイベントや行事を企画し、積極的に参加していただけるよう促していきます。</li> <li>・きょうだいについての相談がある場合は、適宜相談対応しています。今後も、機会がある際には働きかけていきたいと思えます。</li> <li>・保護者同士の交流の機会を増やし、保護者同士がゆっくりと会話できる時間をつくりたいと思えます。</li> </ul>
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	2		2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急な対応にも応じることが出来るよう園の整備をしています。</li> </ul>

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	2		3		・気軽に話せる場を提供していきます。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23	3		6	・毎月園だよりや給食だよりなど楽しく見させて頂いています。	・引き続き発行していきます。 ・引き続き園の様子が伝わるような園だより給食だよりの作成に努めます。 ・ウェブ上で気軽に情報を得られるよう努めます。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31			1		・個人情報についての記録等の持ち出しは禁止しています。 ・個人情報の漏洩がないように職員全員で行動基準や倫理綱領の読み合わせを行って意識を高めています。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	2		2	・ある時期からほとんどの職員の方がマスクなしで指導にあたられておられますが、感染症にかかりやすい為、風邪やインフルエンザが流行する時期はマスクをしてほしい。	・職員が感染源とならぬよう配慮します。 ・子どもたちの支援の妨げにならず目づ、感染対策にも気を付けてマスク着用をしていきます。 ・感染症が流行した際はマスクを着用していますが、子どもたちに伝わりやすくするため、口元を見て欲しい時等マスクを外す事もあります。透明フィルムに変更するなど対応を考えていきます。 ・表情や口の動きが伝わりやすいよう新型コロナウイルス感染症が5類になった時点でマスクは着用しなくても良い対応を取らせていただき、併せて不調がある職員はマスクをすることを通知されています。 ・毎月、火災や自然災害等を想定して避難訓練を実施しています。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	30			3			
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	1		3	6	・避難訓練など、定期的に行われ、園庭門の施設など、管理への配慮を感じます。 ・整頓整頓されていてすっきりしており、安全に配慮されていると思います。 ・その子その子に合わせた環境が整備されていて安全面でも落ち着いて過ごさせていただけてとても助かります。	・引き続き、安全計画に基づき、安全で安心していただけるような支援を継続していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	1	1	2	6	・ケガがあった際など、早めにお電話して頂いたり、安心して通わせることが出来ています。 ・事故等をしていないので分かりません。 ・小さなことでもいつも連絡して下さい安心していきます。 ・息子のことや私の体調のこともよく気にされていて有難いです。 ・その都度何かあれば迅速に連絡があり、良いと思います。	・今後も、事故等が発生した際は、保護者、家族の皆様が安心していただけるような対応ができるよう努めて参ります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	27			6	・お迎え時の子どもの安心した表情や達成感ある顔、様子から活動が楽しく安心感を持っているのを感じます。 ・楽しんで通所しています。 ・行くことを嫌がらずいつも楽しく通わせてもらっています。 ・本人は拒否なく楽しく通所しています。 ・いつも安心感を持って楽しく通所することが出来ています。	・子どもさん達が安心して通い続けられるよう、努力していきます。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	30	2	1		・寝れて寝るくらい楽しいと思います。 ・大好きな先生にはニコニコでかけて行きます。	・行きたい、楽しかった場になるよう努めます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	33				・十分に満足しています。 ・本当に毎日感謝です。 ・よく見てくださり家族で支えられています。ありがとうございます。	・引き続き満足して頂けるよう支援してまいります。 ・満足と言っていたら園、何でもつたえやすい安心した場となるよう努めていきます。	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援センター 防府市なかよし園			公表日	令和7年 3月21日		
	チェック項目	はい	いいえ	無記入	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	7	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規定では、適切となっていると思いますが、実際は狭いと思います。同じ部屋をその都度模様替えをしています。</li> <li>・プレイルームを衝立やロッカー等で仕切り療育のスペースがわかるように確保しています。</li> <li>・基準はOKだが、クールダウンできる空間を確保するように努めています。</li> <li>・3つのクラスをそれぞれ部屋を分けて活動するようにしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状ハード面の改善は難しいことが多いが建て替え時には現場の意見が反映されるように努めます。</li> <li>・棚やパーテーション等の位置を変え部屋を仕切り活動内容に応じて臨機応変に対応しています。</li> <li>・クールダウンできる空間を設置したり、1人用テント等を活用するよう努めます。</li> </ul>
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	7	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員配置基準は満たしています。年休を取る時は現場職員が話し合って児童数に対して配置基準を満たすようにしています。</li> <li>・正規職員や嘱託職員が研修や病気等で休む時は非常勤職員の勤務調整をしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援センターとしての役割を果たすために必要な職員数を確認していきます。</li> <li>・職員が定着するよう働きやすい職場環境を整えたり内部研修などの質を上げていきます。</li> <li>・現場の職員配置基準を考えながら職員同士が気持ちよく休みが取れるように協力し合う必要があります。</li> <li>・職員同士で確認して休みを調整し現場や訪問が回るよう努めています。</li> <li>・休みが重なり人数がギリギリになった時は活動内容の変更やクラスを合同にするなど工夫します。</li> <li>・活動を勧められる職員を増やしていきます。</li> <li>・パートも含めた協力体制を築きます。</li> </ul>
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	4	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3クラスになり、集中しやすい人数に分けることができている。</li> <li>・集団にとっての構造化はできているが個人に対しては工夫が必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境設定について学び、より分かりやすい構造化に努めます。</li> <li>・クラス全体で配慮し合います。</li> </ul>
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・3クラスに分かれて療育を受けれるように部屋を別にしています。</li> <li>・園内や園庭等は常に安全で清潔を保つように清掃や物の配置等を行っています。</li> <li>・温湿度計を設置し室内の室温管理を行ったり、空間除菌や換気を常に行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭や砂場での活動が有意義なものになるように必要に応じて遊具や砂等を補充するよう努めます。</li> <li>・清潔安全な環境調整に努めます。</li> </ul>
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談室など小さい部屋を使ってクールダウンできるようにしています。</li> <li>・兼用になっているので、使用中のことがあります。</li> <li>・空いている場所を利用しています。</li> <li>・クールダウンが必要な時など、個別に応じた部屋や場所等を使用するように努めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて衝立やスクリーン、家具、一人用テント等を利用して個別の空間や場所を提供できるように工夫していきます。</li> </ul>
業	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	1	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パートの方には、会議録などを回覧したり必要に応じて口頭で伝えたりしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半日で終わる行事の後に機会を設けるようにします。</li> <li>・支援方法が変わった時は全職員に伝えるために口頭だけでなく視覚的に分かるようにしていきます。</li> </ul>
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の意見を反映させより良い支援に繋がっていきます。</li> </ul>
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼や終礼で意見を出すようにしています。</li> <li>・終礼等で意見交換しています。</li> <li>・終礼や各会議、特に計画会議等に於いて、業務についての意見を発言する機会を設け、業務改善に務めるようにしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も非常勤職員を含めた全職員の意見が自</li> </ul>

務改善	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	6	4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13			<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン研修も活用し、研修の機会を多く取り入れています。内容をもう少し吟味して頂けると、研修時間がより有意義になる。</li> <li>・外部への研修にも参加しつつ、オンラインでの研修も受けている。</li> <li>・職員数が少ない中で、オンラインなどの研修を積極的に受けています。</li> <li>・支援向上のため、色んな内容の研修を受けています。</li> <li>・内部研修にオンラインを取り入れたり、障害者発達支援センターより講師を招いて現場に沿った研修を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き職員が専門性を高められるよう全職員に周知し研修を受け学べる環境を目指します。</li> <li>・オンラインやオンデマンドを活用し自己研鑽に努めています。今後は、職員の希望や意向を取り入れながら研修の内容も検討していきます。</li> <li>・各々が受けた研修のフィードバックを文章だけでない方法で周知していきます。</li> </ul>
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13			<ul style="list-style-type: none"> <li>・お知らせで知らせています。</li> <li>・ホームページへの掲載、玄関に掲示、個別支援計画に記載しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学者や利用契約時等に丁寧に説明を行っています。</li> </ul>
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	1	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係書類や保護者からの聴き取りを十分行いニーズを引き出すようにしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・客観的な分析にも配慮していきます。</li> <li>・複数職員で多方面から分析していきます。</li> </ul>
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員同士の意見交換の時間を設けています。</li> <li>・終礼や支援会議等で支援についての共通理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の職員の意見が計画に反映されるように努めます。</li> </ul>
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリングを各担当が入力するようになり、より支援計画を意識して支援できていると思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用児の状況に変化が生じたときは随時計画を見直し適切な支援ができるようにしていきます。</li> </ul>
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	5	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々のケース記録を具体的にを行っています。</li> <li>・日々の利用児の状況報告しながら、インフォーマルなアセスメントに心掛けています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員全員のアセスメントについて共通理解を持つように研修等を行っています。</li> </ul>
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も個々に応じた本人支援、家族支援、地域支援の内容を具体的に設定するように努めます。</li> </ul>
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主担当に頼りきっていますが、当日、活動前に打合せを行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが楽しめる活動内容にするために周知する段階で意見を出し合います。</li> <li>・時間の確保に努めます。</li> <li>・主担当に任せきりにしている為立案者を分散することが必要と考えています。</li> </ul>
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の段階に合わせた、課題を設定しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団性も大切にしているが個人の能力に合わせて活動を行い内容がマンネリ化しないよう工夫し立案します。</li> </ul>
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10		3		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎や非常勤職員は時間差での出勤となり、細かいところまでの打ち合わせができない状況ですが可能な限り伝えるようにしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園残りの職員が出勤された方に伝えたり、業務日誌などで確認します。</li> <li>・終礼で確認できるようにします。</li> </ul>
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・終礼時に支援の振り返りを行い注意点等を共有するように努めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・終礼時に支援の質の向上のため振り返りを習慣化し必要事項について職員全員が共有するように努めます。</li> </ul>
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の支援内容を記録し、支援の方法の見直しを行ったり振り返りを行っています。</li> </ul>	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		4			
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	2	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に児童発達支援管理責任者が出席していますが、今後は現場の状況を見ながら積極的に担当者が出席できるように努力します。</li> </ul>	

25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13			<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関の会議の参加や保育所、幼稚園との連携がよくできています。</li> <li>・嘱託医や協力医と連携を取りながら歯科検診や健康診断を年2回圏内で実施し、必要に応じて保護者の相談にも対応しています。</li> <li>・常に関係機関との連携を図っています。医療機関については必要に応じて行っていま</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は必要であれば利用児の主治医との連携を取るよう努めていきます。</li> </ul>
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		3		
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		3		
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	8	1	4		
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	13			<ul style="list-style-type: none"> <li>・山口県障害者発達支援センターコンサルテーション事業を取り入れたり、外部から講師を招いたりして定期的に研修を行っています。外部研修については、県や福祉協会、協議会等の研修には積極的に参加したり、オンラインでの研修を取り入れています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・嘱託職員の外部研修への参加についても積極的に取り組みます。</li> </ul>
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	10		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども発達支援部会、研修部会、要対協の会議、研修などへ積極的に参加しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き積極的に参加していきます。</li> </ul>
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	12		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・頻度や対象圏が限られていますが、ふれあい保育で近隣の認定こども園等の児童との交流を毎年実施しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回数を増やしていきます。</li> <li>・対象圏を増やすことに努めます。</li> </ul>
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11		2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時や連絡帳、電話などで支援方針や課題など共通理解を深めています。</li> </ul>
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	4	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談会の機会は設けている。</li> <li>・ペアレントトレーニングは行っていないが、ペアレントメンター相談会を開催し保護者への支援を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ペアレントメンター」など保護者同士の関わりが増えるように啓発を行っています。</li> </ul>
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		3		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員同士で話し合いの場があります。</li> <li>・定期的にモニタリングを実施したり、随時保護者等の意見を聞いたり、子どもや家族の意向を確認しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限り、子どもや家族とのコミュニケーションの機会を設け気持ちや意見を汲み取るよう心掛けていきます。</li> </ul>
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10		3		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	1	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して子育てが出来るように相談に応じていきます。</li> </ul>

39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は冬休みにクリスマス会を実施したので、きょうだいの参加があったが、きょうだい同士のみが関わる機会とはなっていません。</li> <li>・保護者同士は行事を通して行っているが、きょうだい同士は今後の課題です。きょうだいも行事に参加の機会を設けています。</li> <li>・親子での行事参加を取り入れ、支援しています。</li> <li>・保護者や父母会はありませんが、行事等の参加を促し、茶話会を企画し、保護者同士の交流ができるような機会を設けています。</li> <li>・お父さんの会を設けています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事参加での保護者同士の交流については行事終了と同時に解散するため交流の時間が十分とれません。今後は、保護者同士の交流を目的のイベントを開催できるように努めていきます。</li> </ul>
40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの相談や申し入れなどがあった場合は、迅速に対応しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も迅速かつ適切に対応できるように常に努力していきます。</li> </ul>
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	11		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、園だよりを発行して行事予定や活動状況、必要な情報等をお知らせしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も継続していきます。</li> </ul>
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報に関する書類などの持ち出しを禁止しています。</li> <li>・個人情報についての連絡は、携帯電話やメールを利用せず固定電話を利用しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の取り扱いについては細心の注意を図るとともに職員全員に徹底していきます。</li> </ul>
43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵カードを利用して1日のスケジュールを説明したり、保護者には連絡帳等で情報伝達に努めています。</li> </ul>	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	4	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・当事業所の行事では地域住民を招待するような企画がありませんが、法人内施設での行事には地域住民の招待をし職員も参加しています。</li> </ul>
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯については、不審者侵入を想定した避難訓練を年2回実施しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者への周知を十分行い訓練等への協力を得て実施するように努めます。</li> </ul>
46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂災害、地震に対して年2回ずつ避難訓練を実施しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練の内容がマンネリ化しないように計画実施していきます。</li> </ul>
47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	12		1		
48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食物アレルギーの児への調査を行ったり、医師の指示書を提示してもらっています。又、毎月給食献立の内容を保護者に確認してもらい書類を提出してもらっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さんのアレルギーの状況によっては必要に応じて最新の医師の指示書を提出して頂くようにします。</li> </ul>
49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月避難訓練や内部研修を通して、安全管理に務めています。</li> <li>・安全計画は作成しています。訓練については避難訓練として火災、自然災害（土砂災害、地震）、不審者等は定期的実施しています。</li> <li>・研修についてはマニュアルの読み合わせを行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤を含む職員全員が安全計画を周知し支援ができるように研修や訓練を重ねていきます。</li> <li>・計画は随時見直しをしながら必要に応じて更新していきます。</li> </ul>
50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分理解していただいているか不明。</li> <li>・安全計画の説明を家族に周知する機会を設定する必要があると考えます。</li> <li>・何かあればすぐに連絡している。</li> <li>・引き渡し訓練を行い、保護者との連携を図るようにしています。</li> <li>・安全計画についての取り組みについては、家族等への周知を行っていく必要があります。</li> </ul>	



51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットがあれば終礼で報告し、回覧は後文書でしているが。</li> <li>・ヒヤリハット事例集は作成していないが、ヒヤリハット報告書にて検討し、職員間で供覧している。</li> <li>・終礼時、ヒヤリハットを報告してもらい、検討を行ない共有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハット事例集を作成し、全職員に周知できるようにします。</li> </ul>
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月必ず内部研修に取り入れ意識強化に繋がっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の中に必ず毎月取り入れるように計画します。</li> </ul>
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9		4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト面に関してはスタッフの努力によって実施されており、評価出来ると思います。</li> <li>・契約時に説明したり、必要に応じて説明するように努めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に説明し改善など話し合いを進めていきます。</li> <li>・身体拘束の適正化指針を定期的に読み合わせ、保護者への説明ができるように常に意識付けをしていきます。</li> </ul>

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センター 防府市なかよし園

公表日 令和7年 3月 21日

保護者等数(児童数) 41 回収数 33  
割合 80.4%

利用児童数 令和6年 11月 18日

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	無記入	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	3	1	2		・1人1人に向き合って十分に確保されていると思います。 ・利用児が多い日は室内での遊びスペースがより必要と感じます。	・支援内容や活動に合わせてスペースの確保に努めます。 ・子どもの特性に配慮し、安全な環境スペースが提供できるよう構造化に努めます。 ・仕切りをし、部屋を場面に合わせて調整します。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	27	1		5		・職員の配置数は十分にあると思います。 ・年々利用者が増加している割に正社員の数が増えかわりにパートさんで補っている印象があり、一人一人に対応できているか不安に感じることがある。	・パートも職員であり責任ある立場であることの理解に努めます。 ・職員研修を行い質の高い療育が提供できるようにします。 ・全職員、情報共有をしっかりと行い、安心して頂けるよう責任ある支援を行います。 ・定期的に職員研修を実施し、スキルの向上を図っています。一人ひとりが意識を持って適切な支援に努めます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	29	2		2		・生活空間は安全性を保ち、一日の出来事の情報伝達も十分に出来ていると思います。	・一人ひとりの特性に沿った分かりやすい導線など構造化に努めます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	32				1	・毎朝園庭もきれいに掃除、整備されていてありがたいです。 ・もう少しトイレ誘導、おむつ替え等の回数が増えるといいなと思います。 ・日が入って明るい部屋でよいと思います。	・日々の療育について理解して頂けるように努めます。 ・引き続き環境整備に努めます。 ・トイレ誘導時の着替えの場所などにも配慮します。 ・子どもたちの様子を見ながら、1日の流れ以外にもトイレなど行っています。回数の変化がみられた際は保護者の方にお伝えできるよう心がけます。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27				6	・子どもの苦手とする面を無理なくステップから克服できるよう成長を促して頂き、作業・理学療法、栄養学各分野での活動があり、助かります。 ・個別課題の日があり子どもに応じた課題を行ってくれています。 ・よく息子のことを見てくれて有難いです。 ・子どもの特性に合わせてたり、子どものペースに合わせた支援が受けれていても助かります。	・個々の子どもの特性を理解し、全職員で情報共有しながら、資格取得者の専門性を活かし、個々のニーズに沿った支援を提供できるように努めます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24	1		2	6	・幼稚園訪問も含め、両親・家庭で支援内容を共有できていて助かります。 ・プログラムに沿った支援内容だと思います。 ・あっていると思います。	・個別支援計画の説明を行う時に、支援プログラムの内容についても説明していきます。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	32	1					・一人ひとりの特性(5領域に基づいた)計画作成に努めます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	31				2	・リハビリや食事提供など本人に合わせて行なってもらっていると思う。 ・親の私でさえ気が付きにくい事をよく見て下さり、共有して頂いて助かっています。 ・よく見て下さり、こちらの思いをくみ取っていただいています。	・一人ひとりの特性(5領域に基づいた)計画作成に努めます。 ・できたこと難しいこと、保護者の方と相談しながら支援していきます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	33						・職員研修の中で計画に沿った支援、見直し、改善に努めます。
10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	1	1	4			・楽しい、やってみたいなど自主的な気持ちの育つプログラムを提供していきたいです。	

11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	21	2	2	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流がある事で本人も刺激されて良いと思う。</li> <li>・年に1回くらいですか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は一回行いました。交流させていただいた園より少し回数を増やしたいと言ってお声をいただいています。</li> <li>・次年度は複数回実施できるよう調整致します。</li> </ul>
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	32			1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすい説明を心掛けていきます。</li> </ul>
13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32			1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の都合を配慮して説明の機会を設けられているように思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との良い情報共有の場となるよう努めます。</li> </ul>
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	6	1	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも平日に行なわれているため、土曜日とかに行なっていて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアレントトレーニングは実施していませんが、今後は家族支援に関する企画を検討し土・日に開催できるように努めていきます。</li> </ul>
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	29	3		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園での様子を細かく教えて下さるので共通理解が出来ています。</li> <li>・連絡帳に細かく書いて下さったりすると、後で読み返せて助かっています。</li> <li>・バス通園なので、ノートのやり取りのみだと見えない部分もあって仕方ないことだとは思いますが。(最近保育園ではコードモンというアプリを使って毎日どんな事をしたのか写真で送ってくれるので日々の出来事が把握しやすいです。)</li> <li>・保護者の困り事や意向を伝えやすい、開かれた環境、先生方だと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳や対面などきめ細やかな情報共有に努めます。</li> <li>・療育の中で変化があれば速やかにお伝えします。</li> <li>・保護者の皆さんが、お子さんを安心して通園させられるように開かれた施設を目指していきたいと思ます。</li> <li>・ご不便をおかけしますが現状ではアプリ等の活用は難しいので連絡帳や電話などで対応させていただいています。また、給食参観(毎月)なども設けておりますので是非ご活用ください。</li> </ul>
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	2		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス通園の保護者の方も、活動の様子が分かり、お話をしやすい時間、機会があるとより良いかとも感じます。</li> <li>・マンツーマンでお話をさせて頂く機会は本当に貴重ありがたいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当と保護者が直接話ができるような機会を設けます。</li> <li>・保護者の皆さんが気軽に相談できるような体制や環境づくりに努めます。</li> <li>・児発管も含め各担当職員と時間を作り、面談など行う機会を作るよう努めます。</li> </ul>
17	事業所の職員から共感的な支援をされていると思いますか。	25	2		6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳に記入したりお伝えした内容に配慮しながら日々見ていただいている事、保護者への配慮も多く、有難いです。</li> <li>・子供の課題や成長した点をよく見つけていただき、助言や家での様子を聞いていただける職員さんが多いですが、自分の担当？のお子さんに徹しておられる職員さんの中には居られます。</li> <li>・親が気づけなかったことに気づいてもらったり一緒に子どもの課題について話し合える機会が多くあり、とても助かっています。</li> <li>・子どもが新しくできることが増えてきて時などに一緒に喜んでもらってこちらもとても嬉しいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日、終礼時に子どもさんの状況報告をしたり、定期的に支援会議を行ったりと、一人一人のお子様についての情報を全職員で共有しています。</li> <li>・園では、担当職員のみならず全員でお子様一人一人を支援しています。今後も担当に拘らず支援を継続していくつもりです。</li> </ul>
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	6		4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナや感染症対策に伴い難しくなったイベントもありますが、クリスマス会、お父さんの会など工夫して開いていただき有難いです。これからもそういった機会が増えていくと嬉しいです。</li> <li>・家族への支援はされているのが、きょうだいの支援は不明なので。</li> <li>・親子参加の行事は増えましたが、クリスマス会やお料理会などいつもの雰囲気とは違った、より活動的な内容である為自分の子どもの見守りに精いっぱい、保護者同士などの会話は難しいです。</li> <li>・保護者同士の交流はよく機会を設けていただいて、有難いです。きょうだい同士の交流についてはよくわかりませんが、きょうだいも参加してもいいイベントは多く開いてくれています。</li> <li>・色々な季節のイベントや交流会の開催があり、支援や勉強になることも沢山あってとても助かっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族が参加できるような魅力あるイベントや行事を企画し、積極的に参加していただけるよう促していきます。</li> <li>・きょうだいについての相談がある場合は、適宜相談対応しています。今後も、機会がある際には働きかけていきたいと思ます。</li> <li>・保護者同士の交流の機会を増やし、保護者同士がゆっくりと会話できる時間を増やしていきたいと思ます。</li> </ul>
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	2		2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急な対応にも応じることが出来るよう園の整備をしています。</li> </ul>

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	2		3		・気軽に話せる場を提供していきます。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23	3		6	・毎月園だよりや給食だよりなど楽しく見せて頂いています。	・引き続き発行していきます。 ・引き続き園の様子が伝わるような園だより給食だよりの作成に努めます。 ・ウェブ上で気軽に情報を得られるよう努めます。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31			1		・個人情報についての記録等の持ち出しは禁止しています。 ・個人情報の漏洩がないように職員全員で行動基準や倫理綱領の読み合わせを行って意識を高めています。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	2		2	・ある時期からほとんどの職員の方がマスクなしで指導にあたられておられますが、感染症にかかりやすい為、風邪やインフルエンザが流行する時期はマスクをしてほしい。	・職員が感染源とならぬよう配慮します。 ・子どもたちの支援の妨げにならず且つ、感染対策にも気を付けてマスク着用をしていきます。 ・感染症が流行した際はマスクを着用していますが、子どもたちに伝わりやすくするため、口元を見て欲しい時等マスクを外す事もあります。透明フィルムに変更するなど対応を考えていきます。 ・表情や口の動きが伝わりやすいよう新型コロナウイルス感染症が5類になった時点でマスクは着用しなくても良い対応を取らせていただき、併せて不調がある職員はマスクをすることも通知されています。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	30			3		・毎月、火災や自然災害等を想定して避難訓練を実施しています。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	1		3	6	・避難訓練など、定期的に行われ、園庭門の施設など、管理への配慮を感じます。 ・整整頓頓されていてすっきりしており、安全に配慮されていると思います。 ・その子その子に合わせた環境が整備されていて安全面もですが落ち着いて過ごさせていただいととても助かります。	・引き続き、安全計画に基づき、安全で安心していただけるような支援を継続していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	1	1	2	6	・ケガがあった際など、早めにお電話して頂いたり、安心して通わせることが出来ています。 ・事故等をしていないので分かりません。 ・小さなことでもいつも連絡して下さい安心していきます。 ・息子のことや私の体調のこともよく気にされていて有難いです。 ・その都度何かあれば迅速に連絡があり、良いなと思います。	・今後も、事故等が発生した際は、保護者、家族の皆様が安心していただけるような対応ができるよう努めて参ります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	27			6	6	・お迎え時の子どもの安心した表情や達成感ある顔、様子から活動が楽しく安心感を持っている事を感じます。 ・楽しんで通所しています。 ・行くことを嫌がらずいつも楽しく通わせてもらっています。 ・本人は拒否なく楽しく通所しています。 ・いつも安心感を持って楽しく通所することが出来ています。	・子どもさん達が安心して通い続けられるよう、努力していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	30	2	1			・寝て寝るくらい楽しいと思います。 ・大好きな先生にはニコニコでかけて行きます。	・行きたい、楽しかった場になるよう努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	33					・十分に満足しています。 ・本当に毎日感謝です。 ・よく見てくださり家族で支えられています。ありがとうございます。	・引き続き満足して頂けるよう支援してまいります。 ・満足と言っていただける園、何でもつたえやすい安心した場となるよう努めていきます。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					
児童発達支援センター 防府市なかよし園		令和7年 3月21日					
	チェック項目				工夫している点	課題や改善すべき点	
		はい	いいえ	無記入			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	7	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規定では、適切となっていると思いますが、実際は狭いと思います。同じ部屋をその都度模様替えをしています。</li> <li>・プレイルームを衝立やロッカー等で仕切り療育のスペースがわかるように確保しています。</li> <li>・基準はOKだが、クールダウンできる空間を確保するように努めています。</li> <li>・3つのクラスをそれぞれ部屋を分けて活動するようにしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状ハード面の改善は難しいことが多いが建て替え時には現場の意見が反映されるように努めます。</li> <li>・棚やパーテーション等の位置を変え部屋を仕切り活動内容に応じて臨機応変に対応しています。</li> <li>・クールダウンできる空間を設置したり、1人用テント等を活用するよう努めます。</li> </ul>
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	7	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員配置基準は満たしています。年休を取る時は現場職員が話し合って児童数に対して配置基準を満たすようにしています。</li> <li>・正規職員や嘱託職員が研修や病気で休む時は非常勤職員の勤務調整をしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援センターとしての役割を果たすために必要な職員数を確認していきます。</li> <li>・職員が定着するよう働きやすい職場環境を整えたり内部研修などの質を上げていきます。</li> <li>・現場の職員配置基準を考えながら職員同士が気持ちよく休みが取れるように協力し合う必要があります。</li> <li>・職員同士で確認して休みを調整し現場や訪問が回るよう努めています。</li> <li>・休みが重なり人数がギリギリになった時は活動内容の変更やクラスを合同にするなど工夫します。</li> <li>・活動を勧められる職員を増やしていきます。</li> <li>・パートも含めた協力体制を築きます。</li> </ul>
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	4	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3クラスになり、集中しやすい人数に分けることができている。</li> <li>・集団にとっての構造化はできているが個人に対しては工夫が必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境設定について学び、より分かりやすい構造化に努めます。</li> <li>・クラス全体で配慮し合います。</li> </ul>
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・3クラスに分かれて療育を受けられるように部屋を別にしています。</li> <li>・園内や園庭等は常に安全で清潔を保つように清掃や物の配置等を行っています。</li> <li>・温湿度計を設置し室内の室温管理を行ったり、空間除菌や換気を常に行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭や砂場での活動が有意義なものになるように必要に応じて遊具や砂等を補充するように努めます。</li> <li>・清潔安全な環境調整に努めます。</li> </ul>
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談室など小さい部屋を使ってクールダウンできるようにしています。</li> <li>・兼用になっているので、使用中のことがあります。</li> <li>・空いている場所を利用しています。</li> <li>・クールダウンが必要な時など、個別に応じた部屋や場所等を使用するように努めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて衝立やスクリーン、家具、一人用テント等を利用して個別の空間や場所を提供できるように工夫していきます。</li> </ul>
業	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	1	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パートの方には、会議録などを回覧したり必要に応じて口頭で伝えたりしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半日で終わる行事の後に機会を設けるようにします。</li> <li>・支援方法が変わった時は全職員に伝えるために口頭だけでなく視覚的に分かるようにしていきます。</li> </ul>
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の意見を反映させより良い支援に繋がっていきます。</li> </ul>
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼や終礼で意見を出すようにしています。</li> <li>・終礼等で意見交換しています。</li> <li>・終礼や各会議、特に計画会議等に於いて、業務についての意見を発言する機会を設け、業務改善に務めるようにしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も非常勤職員を含めた全職員の意見が自</li> </ul>

務改善	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	6	4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13			<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン研修も活用し、研修の機会を多く取り入れています。内容をもう少し吟味して頂けると、研修時間がより有意義になる。</li> <li>・外部への研修にも参加しつつ、オンラインでの研修も受けている。</li> <li>・職員数が少ない中で、オンラインなどの研修を積極的に受けています。</li> <li>・支援向上のため、色んな内容の研修を受けています。</li> <li>・内部研修にオンラインを取り入れたり、障害者発達支援センターより講師を招いて現場に沿った研修を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き職員が専門性を高められるよう全職員に周知し研修を受け学べる環境を目指します。</li> <li>・オンラインやオンデマンドを活用し自己研鑽に努めています。今後は、職員の希望や意向を取り入れながら研修の内容も検討していきます。</li> <li>・各々が受けた研修のフィードバックを文章だけでない方法で周知していきます。</li> </ul>
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13			<ul style="list-style-type: none"> <li>・お知らせで知らせています。</li> <li>・ホームページへの掲載、玄関に掲示、個別支援計画に記載しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学者や利用契約時等に丁寧に説明を行っています。</li> </ul>
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	1	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係書類や保護者からの聴き取りを十分行いニーズを引き出すようにしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・客観的な分析にも配慮していきます。</li> <li>・複数職員で多方面から分析していきます。</li> </ul>
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員同士の意見交換の時間を設けています。</li> <li>・終礼や支援会議等で支援についての共通理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の職員の意見が計画に反映されるように努めます。</li> </ul>
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリングを各担当が入力するようになり、より支援計画を意識して支援できていると思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用児の状況に変化が生じたときは随時計画を見直し適切な支援ができるようにしていきます。</li> </ul>
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	5	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々のケース記録を具体的にを行っています。</li> <li>・日々の利用児の状況報告しながら、インフォーマルなアセスメントに心掛けています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員全員のアセスメントについて共通理解を持つように研修等を行っています。</li> </ul>
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も個々に応じた本人支援、家族支援、地域支援の内容を具体的に設定するように努めます。</li> </ul>
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主担当に頼りきっていますが、当日、活動前に打合せを行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが楽しめる活動内容にするために周知する段階で意見を出し合います。</li> <li>・時間の確保に努めます。</li> <li>・主担当に任せきりにしている為立案者を分散することが必要と考えています。</li> </ul>
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の段階に合わせた、課題を設定しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団性も大切にしているが個人の能力に合わせて活動を行い内容がマンネリ化しないよう工夫し立案します。</li> </ul>
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10		3		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎や非常勤職員は時間差での出勤となり、細かいところまでの打ち合わせができない状況ですが可能な限り伝えるようにしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園残りの職員が出勤された方に伝えたり、業務日誌などで確認します。</li> <li>・終礼で確認できるようにします。</li> </ul>
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・終礼時に支援の振り返りを行い注意点を共有するように努めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・終礼時に支援の質の向上のため振り返りを習慣化し必要事項について職員全員が共有するように努めます。</li> </ul>
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の支援内容を記録し、支援の方法の見直しを行ったり振り返りを行っています。</li> </ul>
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		4		
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	2	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に児童発達支援管理責任者が出席していますが、今後は現場の状況を見ながら積極的に担当者が出席できるように努力します。</li> </ul>	

25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13			・関係機関の会議の参加や保育所、幼稚園との連携がよくできています。 ・嘱託医や協力医と連携を取りながら歯科検診や健康診断を年2回圏内で実施し、必要に応じて保護者の相談にも対応しています。 ・常に関係機関との連携を図っています。医療機関については必要に応じて行ってい	・今後は必要であれば利用児の主治医との連携を取るよう努めていきます。
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		3		
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		3		
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	8	1	4		
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	13			・山口県障害者発達支援センターコンサルテーション事業を取り入れたり、外部から講師を招いたりして定期的に研修を行っています。外部研修については、県や福祉協会、協議会等の研修には積極的に参加したり、オンラインでの研修を取り入れています。	・嘱託職員の外部研修への参加についても積極的に取り組みます。
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	10		3	・子ども発達支援部会、研修部会、要対協の会議、研修などへ積極的に参加しています。	・引き続き積極的に参加していきます。
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	12		1	・頻度や対象圏が限られていますが、ふれあい保育で近隣の認定こども園等の児童との交流を毎年実施しています。	・回数を増やしていきます。 ・対象圏を増やすことに努めます。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11		2		・送迎時や連絡帳、電話などで支援方針や課題など共通理解を深めています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	4	2	・相談会の機会は設けている。 ・ペアレントトレーニングは行っていないが、ペアレントメンター相談会を開催し保護者への支援を行っています。	・「ペアレントメンター」など保護者同士の関わりが増えるように啓発を行っています。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		3		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11		2	・職員同士で話し合いの場があります。 ・定期的にモニタリングを実施したり、随時保護者等の意見を聞いたり、子どもや家族の意向を確認しています。	・可能な限り、子どもや家族とのコミュニケーションの機会を設け気持ちや意見を汲み取るよう心掛けていきます。
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10		3		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	1	3		・安心して子育てが出来るように相談に応じていきます。

39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は冬休みにクリスマス会を実施したので、きょうだいの参加があったが、きょうだい同士のみが関わる機会とはなっていません。</li> <li>・保護者同士は行事を通して行っているが、きょうだい同士は今後の課題です。きょうだいも行事に参加の機会を設けています。</li> <li>・親子での行事参加を取り入れ、支援しています。</li> <li>・保護者や父母会はありませんが、行事等の参加を促し、茶話を企画し、保護者同士の交流ができるような機会を設けています。</li> <li>・お父さんの会を設けています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事参加での保護者同士の交流については行事終了と同時に解散するため交流の時間が十分とれません。今後は、保護者同士の交流を目的のイベントを開催できるように努めていきます。</li> </ul>
40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの相談や申し入れなどがあった場合は、迅速に対応しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も迅速かつ適切に対応できるように常に努力していきます。</li> </ul>
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	11		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、園だよりを発行して行事予定や活動状況、必要な情報等をお知らせしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も継続していきます。</li> </ul>
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報に関する書類などの持ち出しを禁止しています。</li> <li>・個人情報についての連絡は、携帯電話やメールを利用せず固定電話を利用しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の取り扱いについては細心の注意を図るとともに職員全員に徹底していきます。</li> </ul>
43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵カードを利用して1日のスケジュールを説明したり、保護者には連絡帳等で情報伝達に努めています。</li> </ul>	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	4	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・当事業所の行事では地域住民を招待するような企画がありませんが、法人内施設での行事には地域住民の招待をし職員も参加しています。</li> </ul>
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯については、不審者侵入を想定した避難訓練を年2回実施しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者への周知を十分行い訓練等への協力を得て実施するように努めます。</li> </ul>
46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂災害、地震に対して年2回ずつ避難訓練を実施しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練の内容がマンネリ化しないように計画実施していきます。</li> </ul>
47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	12		1		
48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食物アレルギーの児への調査を行ったり、医師の指示書を提示してもらっています。</li> <li>又、毎月給食献立の内容を保護者に確認してもらい書類を提出してもらっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さんのアレルギーの状況によっては必要に応じて最新の医師の指示書を提出して頂くようにします。</li> </ul>
49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月避難訓練や内部研修を通して、安全管理に務めています。</li> <li>・安全計画は作成しています。訓練については避難訓練として火災、自然災害（土砂災害、地震）、不審者等は定期的実施しています。</li> <li>・研修についてはマニュアルの読み合わせを行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤を含む職員全員が安全計画を周知し支援ができるように研修や訓練を重ねていきます。</li> <li>・計画は随時見直しをしながら必要に応じて更新していきます。</li> </ul>
50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分理解していただいているか不明。</li> <li>・安全計画の説明を家族に周知する機会を設定する必要があると考えます。</li> <li>・何かあればすぐに連絡している。</li> <li>・引き渡し訓練を行い、保護者との連携を図るようにしています。</li> <li>・安全計画についての取り組みについては、家族等への周知を行っていく必要があります。</li> </ul>	



51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットがあれば終礼で報告し、回覧は後文書でしているが。</li> <li>・ヒヤリハット事例集は作成していないが、ヒヤリハット報告書にて検討し、職員間で供覧している。</li> <li>・終礼時、ヒヤリハットを報告してもらい、検討を行ない共有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハット事例集を作成し、全職員に周知できるようにします。</li> </ul>
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月必ず内部研修に取り入れ意識強化に繋げています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の中に必ず毎月取り入れるように計画します。</li> </ul>
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9		4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト面に関してはスタッフの努力によって実施されており、評価出来ると思います。</li> <li>・契約時に説明したり、必要に応じて説明するように努めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に説明し改善案など話し合いを進めていきます。</li> <li>・身体拘束の適正化指針を定期的に読み合わせ、保護者への説明ができるように常に意識付けをしています。</li> </ul>